

南太秦自治連合会／京都市右京区役所（近畿運輸局）

市バス路線の開設を契機に、地域住民が主体となって、行政、事業者と協働して、市バスなどの公共交通機関の利用促進と利便性向上に向けたMMの取組を、長期に渡って実践している。利用者は運行当初の約4倍に増加し、利用者の増加が更なる利便性向上につながる好循環を実現している。

取組内容・効果

■市バス路線開設以降の活動経過

- ・平成19年度：おでかけマップの作成・全戸配布。
- ・平成20年度：CO2削減の観点からも公共交通利用を促すよう冊子を作成・全戸配布。
- ・平成22年度：おでかけプランの作成、体験乗車券の配布、ポケット時刻表の作成・配布。
- ・平成23年度：市バスの増便、最終バスの時刻繰り下げをPRする看板をバス車両に設置。
- ・平成26年度：南太秦停留所のバス待ち環境を改善する「バスの駅」を設置。自治連合会が、日々の清掃やプランター設置等、美化活動を実施。
- ・平成27年度：ニュースレター「ちいきの足」を作成・配布。
- ・平成30年8月：MM活動10年間のあゆみを「市バス70号系統MM活動10周年記念誌 陸の孤島にバス走る」として発行。

■環境保全効果

- ・約323tのCO2削減※

※すべてのバス利用者が自家用車利用からバス利用に転換したと仮定して算出。

■表彰実績

- ・平成24年度JCOMMプロジェクト賞受賞

評価ポイント

(1) 創意工夫

- ・バス利用のためのワークショップの企画・運営やファシリテーターまで地域主導で実施。
- ・ワークショップに京都市交通局や行政の担当者も参加して、専門的見地からの適切な情報の提供。

(2) CO2排出量削減への貢献度

- ・市バスの利用者が、運行開始の平成19年度は、1日利用者数480人であったものが平成28年度には約4倍の1,851人へ増加。

(3) 継続性

- ・平成19年度以降、ワークショップを定期的に開催し、地域で公共交通を守り、育てる意識が浸透。
- ・バスの駅の維持管理でも、地域住民主体で環境美化活動を継続。

(4) 一体性

- ・平成27年度にはニュースレター「ちいきの足」を作成し、南太秦学区以外の沿線の学区にも配布。